自治会加入の御案内

竜王町では、「この地域に住んで良かった」「この地域に住み続けたい」と思える町となるよう取組んでいます。

この取組には、自治会活動の活性化や町民と行政とが地域内の情報を共有し、相互理解を深めながら進めていくことが不可欠であると考えています。

各自治会においては、住みよい地域となるよう地域の絆を活かした地域づくりをされています。共に対話をしながら、よりよい地域となるよう協働のまちづくりを進めるため、自治会に加入いただきますよう御協力をお願いします。

自治会活動の事例

活　動	内　容	効　果
防　犯 交通安全	通学の見守り、防犯灯の設置・管理（自治会内）、防犯カメラの設置・管理、防犯に関する研修	「子どもたちの登下校は安全かな・・・」「災害時の避難はどうすれば・・・」と新しい生活は何かと不安なものです。そのとき頼りになるのが、自治会です！
防　災	自主防災組織としての活動、地震や火災等の災害に備えた防災訓練、消火栓ボックスの設置および管理を実施	地域内の環境美化や防犯灯の設置による防犯対策など、身の回りの課題について、地域ぐるみで対応することができます。
環　境	ごみ集積所の設置および管理、道路・河川等の清掃等の環境美化、里道・水路の日常管理	
福　祉	敬老会、子育てサロン、高齢者見守り活動	地域内での親睦や交流を深めることにより、災害時や困った時の助け合いが円滑に行えることが期待できます。
文　化	地域の伝統文化の継承や文化的活動の推進（文化祭等）	
親　睦	地域住民の交流と親睦を目的に、夏まつり、文化祭、運動会を開催	
情報共有 要　望	行政のお知らせ等の全戸配布や掲示板での情報提供、要望等の取りまとめ	行政や地域の動きを知る上で不可欠な情報が入手できます。

自治会は、地域で日常生活を送るために必要となる様々な活動（地域の管理・地域づくり）を担っています。

地域の皆さんが話し合って、住みよい地域となるよう自治会活動に参加して話し合いましょう。

revo Ryution! 竜王

お住いの地域の自治会に関するお問い合わせは、竜王町未来創造課（電話 0748-58-3701）までお願いします。自治会を御案内します。

日頃から自治会の活動に参加し、地域の絆を深めてみませんか。

近年各地で地震や豪雨等の自然災害が発生しています。
大きな災害が発生した場合は公助である行政の支援が行き渡るには時間がかかってしまいます。
そんな時、自治会を通じた地域の繋がりが助けとなったというエピソードがあります。

不安な心を救ってくれた。

平成 28 年熊本地震

<u>いつもの町内放送でほっと安心</u>

市内でも珍しいと思うのですが、うちの町内には町内放送があります。

前震の後、すぐに自治会長さんが「町内の皆さん、ゆっくりでいいから公民館に来てください」と放送してくれたのです。

いつもの聞き慣れた声で放送が流れるのを聞いて、とても安心しました。

自治会長さんも被災しているのに、もう私たちにむけて放送を流してくださっているのだと気づき、我に返って集中して耳を傾けたのですね。「建物のない道路に出てください」と聞こえたので出てみると、それまでザワザワしていた近所の方もおもむろに建物のないところに集まってきて、声を掛け合いました。

初めての大きな地震で、どうしたらいいかわからなかったので、近所の方にも声をかけていただいたりして、そういうのはありがたかったですね。自治会とか近所づきあいとか、大事だなと思いました。（熊本市　40 代　女性）

平成 23 年東日本大震災

<u>指揮官いなくとも気心知れた者同士で難局に立ち向かう</u>

東日本大震災発生当日は自治会長である私は、京都へ旅行中でした。浦安の自宅には息子がいましたが、連絡は取れません。テレビから流れるニュースは津波の話ばかり。

これには正直、参りました。その後、浦安も被害を受けているらしいと知ったときは、団地の自治会長をやっている立場から、団地の皆さんはどうしているだろうか、大丈夫か、混乱しているのではないかと、我が家のこと以上に不安でいっぱいになりました。

甚大な被害を受けたニュースばかりが放映され、当たり前のことですが被害の小さいところは全く情報が入ってこない。しかし、住民には足の不自由な方や高齢者、独居者もいましたから心配でした。翌々日の 13 日には、車を飛ばしてやっと戻ってきたとき、自治会や住民の皆さんの顔を見て全員の無事がわかり、ホッと安どしたのを記憶しています。

しかし、自治会長が指揮を執らなくても粛々と自治会メンバーが各自の仕事を分担していたときは本当にうれしかった。これも日ごろの自治会の交流があったからだと思っています。だれが何を担当するということを決めなくても、おのずと気心知れた者同士では得意な仕事を各自がこなしていく。それを緊急時に見事に力を発揮してくれたのだと思います。夏祭りなど、日ごろの活動も訓練になったのかも知れません。これまでの活動を通じて培った連帯感が、信頼感につながって、今回の被災を乗り切れたのだと思います。

日々の活動が避難所運営に役立った。

出典：内閣府「一日前プロジェクト　エピソード集」